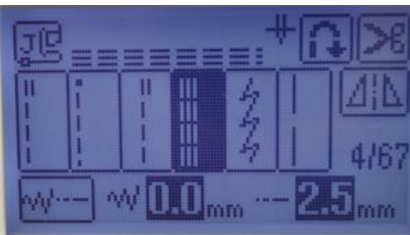


型紙のえりの複数の線は切る線によってえりくびの形を変えることができます。



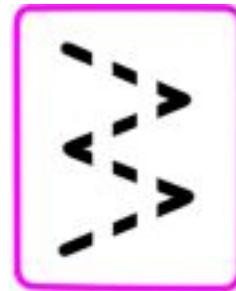
切り替えや柄を入りたい場合
型紙を体に当てて、鏡を見ながら直接切り替えを入れたい位置に鉛筆などで線を引く。
このときに他の柄などの位置を決めておくとよいです
体からはずして線を清書する。
清書した線で切り離す。
切り離れたところに縫い代をつけて下さい。



よく伸びるニットの縫い方
普通の縫い方だと糸が切れるので [レジロン \(ニット用の伸びる糸\)](#) を購入してください
図のような三本線の柄を選択上糸の調子を強めにして縫ってください
これだとかなりの伸縮でも耐えます。
あまり伸びないTシャツ生地だと右隣の雷状の伸縮縫いという機能が使えればこちらを使うといいですよ。



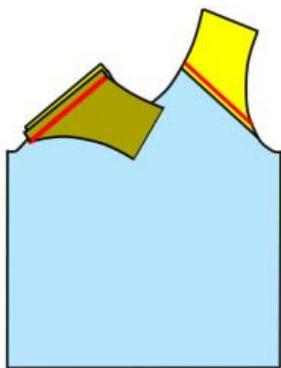
ニットを使う場合は、伸びる生地なので縫っているとどんどん伸びたりずれたりして長さが合わなくなったり、べろべろに伸びたりします。
そこで細かい番手の紙やすりを带状に切って、布と押えの間にはさむと、伸びやズレが減ります。
※一緒に縫わないように注意。



すそにほつれ止めをしてください。

■表 ■裏

ニット地はこのような点線で描かれたジグザグ模様を選択して、ほつれ止めをしてください。



切り替えを入れたときは表同士が内側になるように重ねて縫ってください。
縫ったら縫い代を上側に折り、ミシンで縫って固定してください。




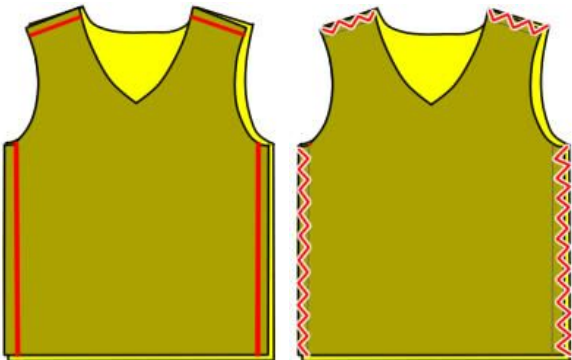
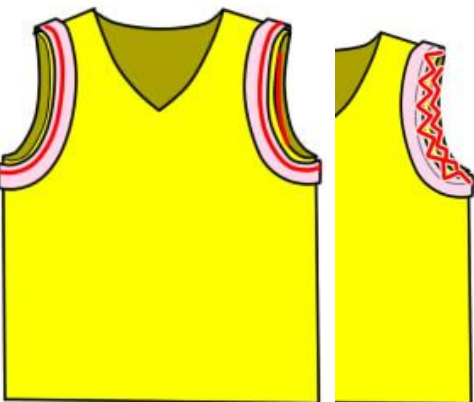
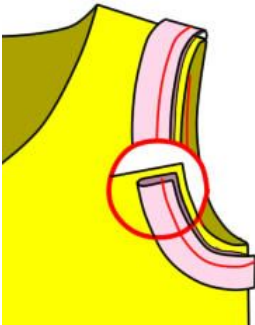

ナンバーなど柄を入れてください。
平らなうちに縫い付けると作業がしやすいです。
洗濯しないのであれば、[フェルトを切って手芸ボンドや糸で縫い付ける](#)のが安くて簡単です。
何度か洗濯したい。柄をはっきりさせたいというのであれば、アイロンプリントを使うといいと思います。
個人的に[クイックアートのアイロンプリントシール プロ仕様 A4サイズ](#)がおすすめです。
プリントの上にさらに保護シートを貼るタイプなので、洗濯しても色落ちなく綺麗ですよ。

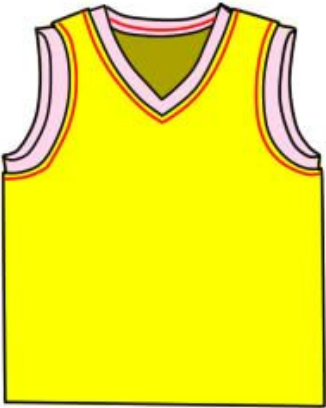




えりとそでぐりのバイアステープを表が内側になるように半分に折り縫ってください。
えりはVの字になっているのでくの字に縫うことによっ



て
こうなるのはわかると思うんですが。
そでも同じようにくの字に縫うと右側のようになります。
脇からそでのバイアスが直線のようになります
(写真はしわが入っているのわかりづらいですが)
左はまっすぐバイアスを縫ったもの。
簡単に作りたいならまっすぐ縫えばバイアスが飛び出しますが作ることが可能です。

	<p>二つ折りにしてください。</p>
	<p>肩と脇を縫ってください。 ほつれどめをしてください ほつれどめについては縫う前の下準備を参照</p>
	<p>表にした身頃のうえに二つ折りしたバイアステープを重ねて縫ってください。 縫った後はバイアスと身頃を一緒にほつれどめしてください。</p> 
	<p>表にした身頃のうえにバイアスを重ね襟を縫ってください。 一気に一週縫うより、慣れていない人は右半分を縫った後、左半分の縫うというように縫ってください。</p>

	 <p>縫い代を身頃（胴）側に折ってください。 縫い目から2~5mmのところを縫って縫い代を固定してください。</p>
	<p>すその縫い代を折ってください。 すその端から5mmのところを縫ってください。●</p>

必要な材料

表生地 ニット糸 ニット針

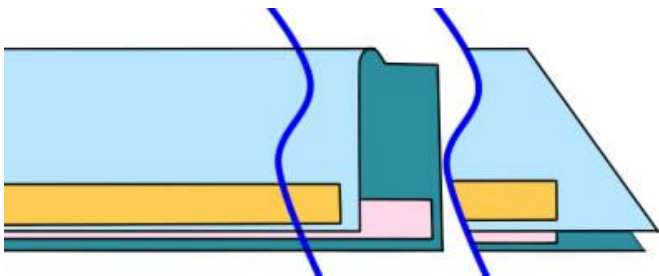
このデザインに適した生地

[トリコットサテン](#) 実際にサッカーやバスケのユニフォームによく使われている素材 光沢あり
[ルミエース](#) スポーツのユニフォームによく使われる生地、光沢なし 吸湿性が高く乾きが早い。夏向き。

[縁取りニット](#) そでやえりのバイアスに。本体と別の色にしたいときなど

伸ばさないようにつけるのがポイント。

縫っているうちに伸びそうだったら、熱接着両面テープでくっつけて縫うといいですよ。



ピンクの位置に熱接着芯を貼って2つ折がずれないようにする。

オレンジの位置に熱接着芯をはって、そでやえりぐりに固定してからミシンで縫う。